

農業経済学特論 I (2 単位)

担当者氏名 立岩 寿一

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

1. 大学院の研究とはどういうものか、またその手法を学ぶ
2. 課題設定の方法と分析方法を学ぶ
3. 研究の意義を議論し、自らの分析視角、分析範囲を設定する
4. 受講生は研究論文構想の具体化と調査手法を理解し、論文作成の基礎を理解する。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

アメリカ経済	国際経済	アメリカ経済史	アメリカ農業史
日本人移民史	アメリカ米産業	農業経済学	経営史

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	ガイダンス	本講義の内容と到達目標、範囲等のガイダンス	本講義の狙いは、大学院の研究と論文の作成に必要な課題設定方法、具体的分析手法、分析視角の設定方法や論文の具体的書き方を講義する。そのため、授業時に紹介する本や資料を必ず読むこと。また毎回レポートを課するため、1~2時間程度の準備学習・復習時間を確保すること。
2	研究とはなにか	大学院の研究の特徴を講義する	
3	研究手法を学ぶ	大学院の研究手法を講義する	
4	課題設定方法を学ぶ I	研究論文の課題設定の意義について講義する	
5	課題設定方法を学ぶ II	研究論文の課題設定方法を講義する	
6	分析方法を学ぶ I	研究論文の分析手法を講義する	
7	分析方法を学ぶ II	研究論文の分析応用方法を講義する	
8	研究意義を学ぶ	研究意義に設定方法を講義する	
9	分析視角を学ぶ	分析視角の設定方法を講義する	
10	アメリカ経済史を学ぶ	19~20 世紀のアメリカ経済史を講義する	
11	アメリカ農業史を学ぶ	19~20 世紀のアメリカ農業史を講義する	
12	アメリカ米産業の現状	カリフォルニアを中心とした米産業の現状を講義する	
13	アメリカ米産業史を学ぶ	アメリカ米産業史を講義する	
14	移民史を学ぶ	日本人移民史を講義する	
15	論文作成を学ぶ	数本の論文を題材に作成方法の注意点を講義する	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

「論文作成の方法」 応和邦明 東京農大出版会 2004

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

「アメリカ農業政策史」 服部信司、農林統計協会 2010 年

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

講義時の発表 (50 点) 及びレポート (50 点)

◆オフィスアワー

水曜三限 (後期:木曜 4 限)。必ずメールなどで事前に連絡すること。

◆その他受講上の注意事項

目的意識を持って授業に望むこと。

研究テーマをもって授業に望むこと。

研究意義を常に意識し、社会科学の多様な研究領域のことに関心を持つこと。